

Topics

- ・ 高校生との意見交換を実施 …… 2
 - ・ 議会報告会開催案内 …… 18
- etc

3月定例会

坂井市

第64号

2022.4

令和4年度一般会計予算を議決!

総額 394億200万円 (前年度比 △2.7%)

主な重点施策予算 (★:新規)

み みんなで未来につなぐまちづくり

多文化共生事業	341万円
市長・市議会議員選挙事業	4,150万円
地方創生推進事業 (移住就職支援)	2,361万円
寄附市民参画事業	7億4,200万円
行政区事務事業 (行政デジタルアプリ)	100万円
財産管理事務事業 (旧中筋団地跡地造成)	2,100万円

互 いに思いやり支え合うまちづくり

在宅介護支援事業 (在宅介護外出支援)	621万円
認知症対策事業 (認知症予防対策)	940万円
予防接種事業	2億4,604万円
地域子育て支援事業	8,523万円
幼保園等施設整備事業	2億1,450万円
重層的支援体制整備事業	3億7,111万円

学 ぶ意欲を支えるまちづくり

小学校施設整備事業 (加戸、長畝小)	3,500万円
小学校教育振興事業 (プール学習モデル事業)	427万円
学校給食管理事業 (学校給食費負担軽減)	1億9,550万円
スポーツ大会運営事業 (ふくい桜マラソン)	1,382万円
みくに龍翔館改修整備事業	5億3,664万円

自 然と共生できるまちづくり

環境共生事業	220万円
(環境教育推進事業)	
一般廃棄物収集処理事業	10億8,308万円

地 域資源を活かし活力に満ちたまちづくり

三里浜砂丘地園芸産地育成事業	1億1,683万円
★新規就農者育成総合対策事業	1,425万円
畜産経営支援事業 (畜産経営基盤強化支援)	2,398万円
★三国港市場振興事業	1,577万円
観光ビジョン戦略事業	7,003万円
東尋坊再整備事業	740万円
★地域商業活性化事業 (キッチンカー等導入支援)	600万円
市内企業就職応援事業 (企業キャリア支援)	300万円

安 全で快適な暮らしを支えるまちづくり

安全・安心まちづくり事業 (LED防犯灯設置補助)	2,000万円
防災事業	767万円
(災害・新型コロナ対策関連備蓄物資)	
空き家等対策事業	1,147万円
道路改良事業 (市単・補助)	2億6,692万円
河川事務事業	850万円
(急傾斜地崩壊防止対策)	

【市の予算規模】

(万円未満四捨五入)

会 計	予 算 額	前年度比較 増減	会 計	予 算 額	前年度比較 増減
一般会計	394億200万円	△2.7%	水道事業会計	23億9,970万円	△1.0%
国民健康保険特別会計	80億7,840万円	2.8%	公共下水道事業会計	51億7,000万円	△0.1%
後期高齢者医療特別会計	13億870万円	17.0%	農業集落排水事業会計	5,040万円	3.1%
			病院事業会計	25億7,270万円	0.5%
			総 計	589億8,190万円	△1.1%

Topics

高校生と意見交換をしました

丸岡高校

令和3年11月18日、県立丸岡高校の2年生と意見交換を行いました。同校は文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定校であり、2年生は総合的な探求学習の一環として、まちづくりや健康福祉、食などを題材に、地域の企業や自治体と協働して課題解決策を探る学習に取り組んでいます。

生徒たちは各々が設定した課題のもと、これまでに行ってきた活動内容を議員に発表し、今後の活動の進め方や、調査をする上で困っていることなどについて、議員と意見交換を行いました。

生徒たち自身が、卒業後に希望している進路と重ねながらテーマを設定していることもあり、どの生徒もとても前向きな意見を述べていたのが印象的でした。地域の活性化やSDGsを学ぶ中で、自分たちの将来を考える良い機会になっていると感じました。



三国高校

令和4年2月1日、県立三国高校の2年生と意見交換を行いました。本来であれば議員が同校に出向いて開催するのですが、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み、今回はWeb会議ツール「ZOOM」を用いたオンライン形式により行われました。

今年も前年と同じように、三高地域魅力化プロジェクトの一環として実施されており、生徒たちはグループごとに地域の問題について調査・研究を行ってきました。当日はその成果を提言としてまとめ、プレゼン方式で議員に発表し、発表後は議員による質問やアドバイスという形で意見交換をしました。

生徒たちが知恵を出し合って提案していることや、課題解決に向け高校生の目線で考えていることなどがよく伝わりました。すぐに事業化に向けて予算化したいと感じられるような提案もあり、年々プレゼンテーションの内容がレベルアップしていると感じました。



地域公共交通対策特別委員会報告（平成30年～令和4年）

持続可能なまちづくりの実現に向けて、少子高齢化社会に対応した市民の足としての利便性の高い公共交通体系について調査研究する

本委員会ではこれまでに、コミュニティバス、並行在来線第三セクター設立準備の状況や高齢者の外出支援などについて、市担当部局と審議を行ってきており、近年はオンデマンド型交通の取り組みや地域公共交通計画の見直しについて議論を重ねてきた。

令和元年には先進地視察で得た知見をもとに、本委員会として、デマンド方式による新たな公共交通事業の導入の実施や外出支援策の充実について、具体的に取りまとめた提言書を市長に提出した。

また、令和2年12月定例会には、北陸新幹線金沢敦賀間の開業の遅れに伴い、委員会発議として「北陸

新幹線敦賀開業に伴う福井県並行在来線の準備会社に対する財政支援を求める意見書」を国に提出した。

今後、各部局においては「坂井市地域公共交通計画」に基づき、将来にわたり持続可能なまちづくりに向けて、誰もが利用しやすく快適、利便性に優れた公共交通の整備が進められていくことを大いに期待する。

また、北陸新幹線敦賀開業を見据え、観光客向けの二次交通も重要な案件であり、オンデマンド型交通と同様に、今後も引き続き調査・研究を進めることが望ましいと本委員会で確認した。

本庁舎整備特別委員会報告（平成30年～令和4年）

本庁舎整備に伴い議場を含めた実施設計の精査と、周辺インフラ整備および議会ICT化について調査研究する

本委員会では、本庁舎の整備に関して、本庁舎整備基本計画や基本設計業務の進捗状況を踏まえ、本庁舎整備や周辺整備に係るさまざまな課題について検証し、市担当部局と協議を重ねてきた。

令和3年3月に新庁舎は完成し、分散されていた事務所機能が一つの庁舎に集約され、市民が利用しやすく開かれた庁舎となった。

また、現在の情報化社会において、効率的で迅速な議会運営を推進することの重要性を鑑み、令和2年11月より、議会におけるタブレット端末の導入を行った。令和2年12月定例会では、執行部において

もタブレット端末が導入され、執行部と議会が一体となり、ICT化を推進することができた。

ICT化の推進は、新型コロナウイルス感染症の拡大や頻発する災害への対応のため、より一層重要性を増している。タブレット端末の活用や議会でのICT化の取り組みは、これからも継続的に行っていく必要があるが、本委員会の設置目的は十分達成されたと認識している。

今後の運用については、デジタル社会に順応した議会活動を目指し、引き続き各議員の研鑽を求めていく。

議会改革特別委員会報告（令和2年～令和4年）

議会活動の充実・強化を図り、将来の人口減少と地方創生を見据えた地方議会のあるべき姿の追求をする

本委員会では、坂井市議会基本条例にもとづき、人口9万人から10万人程度の類似市議会との比較や旧町別の議員1人当たりの人口・面積などを参考に、将来の人口減少や市の財政状況を考慮しながら、議員定数・議員報酬・政務活動費・選挙公営・行政視察旅費の5つの項目について調査・研究してきた。

議員定数については、定数削減に対して反対の意見もあったが、多くの議員が削減すべきという考えだった。意見交換会の内容も考慮に入れ、最終的な意思決定を行い、令和3年9月定例会で定数条例改正の発議案を上程、賛成多数で可決された。これにより、令和4年4月に行われる市議会議員選挙の定数は2人減の24人となる。

議員報酬については、若者や子育て世代が立候補できるよう増額すべきという意見もあったが、コロナ禍の中で報酬を増額することは難しいという判断

のため、現状維持とした。

政務活動費については減額すべきという意見もあったが、議員の調査研究などの活動に資するための必要な経費という意見を集約し、現状維持とした。

選挙公営の公費負担については、県内全ての市町が導入しており、全議員が賛成した。令和3年9月定例会で、「坂井市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」を議決、令和4年4月に行われる選挙から適用される。

行政視察旅費については増額すべきという意見もあったが、現状維持の意見が多数であり、現状維持とした。

今後、より一層、議会改革に取り組むとともに、議員一人一人が日々の研鑽、資質の向上に努め、議員活動を活発にし、市民から信頼される議会を目指していく。

当初予算などを審議

予算特別委員会

～2月14日・15日、3月4日 開催～



主な質疑と答弁

問 【防犯隊活動事業】

予算が減額されている理由は。

答

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で活動が大幅に減っており、近年の活動状況を踏まえ、出勤手当に対する予算の見直しを行ったため。

問 【コミュニティバス運行事業】

今後の方向性についての考えは。

答

オンデマンド交通を活用することで、接続ルートはできるだけ早く廃止したい。基幹ルートについては、もう少し直線的に動けるよう見直しを行い、便数を増やしていく。

問 【財産管理事務事業】

旧中筋団地跡地の今後の活用は。

答

現在測量作業中であり、令和4年度から6年度にかけて単年度ごとに造成工事を実施し、完了後は住民向けに販売することを予定している。

問 【民生児童委員協議会活動補助事業】

民生委員、児童委員のなり手不足への対策は。

答

重層的支援体制整備事業の包括的な支援体制の中で対応し、各区長や現職の委員の声を聞きながら、過度な負担を強いることのないよう支援を行い、なり手不足の解消に取り組む。

問 【地球温暖化防止対策事業】

本市はゼロカーボンシティ宣言をしているが、市独自の削減目標や施策が必要ではないか。

答

2050年ゼロカーボンの実現を進めるため、本市版の脱炭素ロードマップ策定を目標にした調査研究を行っている。ロードマップには市独自の削減目標を掲げ、目標達成のための施策を盛り込んでいく。

問 【住宅リフォーム支援事業】

拡充された補助の内容は。

答

中古住宅を取得した場合についても新たに補助の対象とし、空き家や中古住宅の利用促進を図っていく。

問 【さかい米普及拡大促進事業】

どのように本市産米の消費拡大をPRしていくのか。

答

「くずりゅう千年耕園」というブランドネームに力を入れ、関西方面での本市産米の販路拡大に取り組んでいる。今後、米消費に関する輸出拡大も含めて支援していく。

問 【小学校教育振興事業】

小学校のプール学習はどのように実施していくのか。

答

令和4年度は三国南小学校と平章小学校の2校をモデル校として、屋内プールを活用した学習を試験的に実施していく。移動については民間のバスを利用する。

教育民生常任委員会報告

主な質疑内容

三国病院

問 ニチイ学館が実施した患者満足度調査の結果は。

答 令和3年11月22日から27日までの間、外来患者100人を対象として、待ち時間や事務職員の接遇などを4段階評価で回答したもので、例えば、診察の待ち時間は平均2.9点、接遇は3.7点という結果だった。

教育委員会

問 改正バリアフリー法の改正に伴う市内小中学校の段差解消、車椅子用トイレやエレベーターなどの設置は。

答 玄関に入るまでの外の部分のスロープについては、全ての小中学校で段差解消の整備が終わっている。車椅子用トイレについても、全ての小中学校の校舎、または体育館に多目的トイレを整備している。エレベーターは全ての中学校と、春江東小学校に設置している。

問 コロナ禍における小中学校の修学旅行への対応は。

答 令和4年度1学期に実施する学校については、確実に実施できるよう県内1泊2日の指示をしている。

問 観光交流課で進めている一筆啓上茶屋の移転は、丸岡城天守の国宝化に影響はないのか。

答 国宝化は国が定めるものであり、引き続き試掘や文献調査を行い、調査研究を積み重ねることで将来的に国宝化につながっていくと考えている。

生活環境部

問 地球温暖化対策授業の実施対象は。

答 令和4年度は市内5校の小学6年生を対象として行い、令和5年度以降も継続し、市内全校で実施する予定である。

健康福祉部

問 5歳から11歳までのワクチン接種に伴う市の推進体制は。

答 2月25日に対象者5,600人に接種券を発送している。小児ワクチンの有効性や安全性を理解して、接種の判断をしてもらうことが重要であるため、説明書の同封や広報、ホームページなどで情報提供をしている。

問 コロナ禍で休園が長期化した場合の代替保育への対応は。

答 *縮小保育を前提に、保育士の確保が困難になった場合、公立園では保育課や子育て支援センターに所属する保育士の派遣、民間園では子育て支援センターを活用するというガイドラインを作成し、保育施設に周知している。

問 重層的支援体制整備事業の訪問支援事業の内容は。

答 精神保健福祉士などの資格を持った訪問支援に関する支援員を福祉総務課に配置し、既存の相談支援体制の隙間を埋めるような取り組みを行っている。



▲ 5歳から11歳の対象者に送付された新型コロナワクチン接種の書類

※縮小保育…感染防止のため、可能な場合は自宅での保育をお願いするなど、保育所などでの保育の提供を縮小して実施すること。

総務常任委員会報告

主な質疑内容

総務部

問 防犯事業のLED防犯灯設置について、夜間にウォーキングをする人が増えているが、集落間に防犯灯を設置して防犯や安全対策を図るべきではないか。

答 防犯上、防犯カメラや防犯灯が必要な場合には、警察とも協議しながら対応していきたい。

問 三国学校給食センターの調理業務が民間委託されたが、正職員の割合に変化はあるのか。

答 正職員の割合は変わっていないが、退職者がいる場合、その分は再任用や会計年度任用職員を雇用することになるため、正職員数は減ることになる。

総合政策部

問 オンデマンド交通実証実験の今後の計画は。

答 実証実験の対象地区に対するアンケート結果などを踏まえ、一部実証実験の内容を変更し、2地区の実験運行については4月以降も継続していく予定である。

問 集落カルテ事業は全集落を対象にすることで成果が見られるのではないか。

答 令和3年度は50の集落、令和4年度は95の集落の調査を予定している。令和4年度に55歳以上が半分以上を占める集落を全部調査し、令和5年度から残りの集落の調査を行っていきたい。

財務部

問 国民健康保険税に対する未就学児の均等割について、就学前の児童は全額免除にするべきでは。

答 保険制度は全ての被保険者が等しく保険給付を受けるための権利であり、被保険者の人数に応じて一定の負担をお願いしているため、所得の多寡に関わらず、一定の保険料を負担してもらっている。全額免除については国の動向を注視しながら対応していきたい。

陳情

陳情第1号	北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」「しらさぎ」をJR西日本・JR東海の運営・運行で現行のまま存続させることを求める陳情	不採択
-------	---	-----

※意見陳述者を招致し説明を受け審査

<主な意見>

- 乗り換えが不便になるのは理解できるが、まずは、福井県並行在来線準備会社のコストを下げることが大事である。
- 存続させることによって自治体の財政負担が大きくなり、通勤通学客の利便性向上に逆行する可能性がある。
- 陳情の意見は妥当であり、県の経済面から言っても必要なことである。



▲ 調理業務が民間委託された三国学校給食センター

定例会審議結果

★3月定例会に提出された議案と議決結果 ○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 ー…議長のため原則採決に参加できない

議案番号	件名	議決結果	議席 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
			山田秀樹	三宅小百合	近藤哲行	後藤寿和	川端精治	渡辺竜彦	前川徹	上坂健司	戸板進	吉川貞明	古川信二	田中哲治	佐藤寛治	松本栄治	東野聖一	伊藤人志	辻孝志	川畑嘉彦	前田充雄	橋本純一	永井純一	畑野麻美子	山田栄	広瀬潤一	田中千賀子	
議案第1号	令和3年度坂井市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和3年度坂井市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和3年度坂井市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和3年度坂井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和4年度坂井市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案第6号	令和4年度坂井市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案第7号	令和4年度坂井市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和4年度坂井市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和4年度坂井市公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和4年度坂井市農業集落排水事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和4年度坂井市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	市有財産の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	坂井市一般職の職員の給与に関する条例及び坂井市一般職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	坂井市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	坂井市三国駅条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	坂井市暴力団排除条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	坂井市児童館条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	坂井市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案第21号	坂井市重度障害者(児)医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	坂井市春江中小企業センター条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	令和3年度坂井市一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	令和3年度坂井市病院事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第1号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第2号	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	△	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」「しらさぎ」をJR西日本・JR東海の運営・運行で現行のまま存続させることを求める陳情	不採択	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	ー	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	
陳情第2号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	坂井市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26

産業建設常任委員会報告

主な質疑内容

産業政策部

問 緩効性肥料かんこうせい ひりょうにおけるプラスチック被膜殻ひまくからの海洋流出問題についてどのように対策を講じていくのか。

答 緩効性肥料の使用量減や、流出抑制の栽培管理、代替肥料の実証実験を市内8農家の協力を得て令和4年度に実施する予定である。

問 三国港市場竣工式と同時開催する朝市を今後どのようにアピールしていくのか。

答 テレビ、新聞などメディア全般においてプロモーション活動を展開し、本市の水産産業振興につなげていきたい。

問 東尋坊再整備事業における地質調査は何力所計画しているのか。

答 ボーリング調査と電波を当てて計測する2種類の調査方法で、3カ所を予定している。

問 令和4年度の三国花火の開催を判断する時期は。

答 新型コロナウイルス感染症の状況も見極め、延期も含めて、実行委員会において4月末に判断する予定である。

問 地域商業活性化事業におけるキッチンカー導入支援の対象は。

答 本市に主たる事業所を有し、1年以上事業を継続している中小企業者が対象となる。

建設部

問 三国駅駐車場には、観光客用大型バスの駐車スペースは確保しているのか。

答 ロータリー部分に設置した3台分の路線バス駐車スペースを共有することになっており、路

線バス事業者から運用上支障ないと確認している。

問 除雪対策事業で除雪車にGPSが導入されたがどのような利点があったのか。

答 除雪車の運行状況が常時把握できたことで、問い合わせへの対応や除雪状況の確認に役立った。

問 除雪対応型ではないマンホールの蓋への対応は。

答 耐用年数に応じた取り替えの際に、順次、除雪対応型のマンホールの蓋に交換している。

陳情

陳情第2号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について	採択
-------	--------------------------------	----

※意見陳述者を招致し説明を受け審査

<主な意見>

○シルバー人材センターは特殊な経営体であることから意見書の提出は認めるべきである。

○高齢者が活躍できる組織であり、わずかな報酬に不利益なことが起きることには問題がある。

☆発議第1号にて陳情をもとに意見書を提出。



▲リニューアルオープンした三国港市場

4期16年の坂井市政を振り返って

問 坂井市長は坂井市が誕生した16年前に就任し、「誰もが住みやすく、健康で心豊かに安心して暮らせるまちづくり」を掲げ、「4町融和のまちづくり」に始まり、前半は「心」を、後半は「笑顔」をキーワードにして「笑顔でみんなが住みたくなるまち」の実現に努めてきた。

答 これまでの4期16年の総括と自己評価を伺う。

平成20年3月に坂井市総合計画を策定し、4町融和を図りながら、市民相互の心の結びつきを大切に、「協働によるまちづくり」を基本として、誰もが笑顔であり続けられる「ふるさと坂井」の実現に向け、さまざまな施策に取り組んできた。

令和2年3月策定の第二次総合計画においては、まちづくりの基本は「ひと」であるという姿勢のもと、「輝く未来へ…みんなで創る希望のまち」子どもたちの夢を育むふるさとを目指し



▲第二次坂井市総合計画



辻 人志

「自己評価」については、自身を評価することはなかなか困難だが、4期にわたり市長を務めさせていただいたことは、ある意味、一つの評価であると感じている。これまで特に大きな問題もなく市政運営ができたのは、市民の皆さまの温かいご指導と大きな支えがあったからこそと、心から感謝している。

全天候型子ども遊び場整備支援の大幅拡充を有効活用しては

問 令和3年6月定例会にて、「全天候型遊戯施設の整備が必要では」という一般質問を行ったが、理事者からの答弁は、「市内には既に十分な施設を有していると考えている。本市は海も山もあり、屋内で遊ぶより屋外がよい」という内容であった。

令和4年2月には、県は全天候型の子どもの遊び場を整備する市町に対する補助を、従来の800万円から最大1億円に拡充する方向で調整していると報道されている。

子育て世代から、雨や雪、猛暑日でも子どもが活発に遊べる屋内施設の設置を求める声が高まるなか、本市においても再考する必要があると思われるが、整備する考えはないのか。

答 市内には、市の施設ではゆりの里公園、県の施設では総合グリーンセンターやエンゼルランドふくいなどがあり、小規模なものから大規模なものまで多くの施設がある。



▲雨の日でも活発に遊べる全天候型遊戯施設(かがにここパーク)



山田 秀樹

それ以外にも地域の児童館や民間施設も含めると、子どもが遊べる施設は既に十分整備されているものと考えている。

一方で、天候に左右されない遊び場施設が大切なことも認識しており、今後、県の補助制度の内容と施設整備後の維持管理なども含めて、適宜検討していきたい。

誰もが笑顔で暮らせる地域共生社会の実現に向けて

問 障害福祉サービス受給者証を取得している人数は。

答 令和4年1月末現在で1,133人が取得している。

問 受給者証を取得している人数の増減は。

答 平成28年度から令和3年度当初の期間で見ると、826人から1,133人に増加している。

問 受給者証を取得している人の成人と児童の割合は。

答 成人は798人、児童は335人であり、成人と児童の割合は約7対3である。

問 地域活動支援センターのニーズ調査をして、事業を充実させていく考えはあるのか。

答 事業所に対して調査を行い、土日や夜間の開所、食事や入浴の提供の要望が多いことを聞いている。また、利用者や支援者からの、行きたい場所がない、温かい声かけをしてほしい、そっとしておいてほしいなどという声をしっかりと聞きながら、充実させていきたい。

問 本市の場合、地域活動支援センターが4カ所に必要では。

介護ヘルパーの確保・養成を

問 民間団体などと連携し、日中に利用できる居場所を増やし、提供するサービスを多様化していくことも、一つの方法であると考えます。

今後、利用される方の障がい種別や、年齢に応じた多様なサービスの提供や日中の過ごし方など、施設の増設も含めて、さまざまな視点から検討を進めていく。



▲地域活動支援センターでの活動の様子



後藤 寿和

空き家対策への取り組みを

問 空き家は適切な維持管理が必要であるが、本市の取り組みは。

答 令和3年度より、管理代行サービス経費の助成をしている。

また、市シルバー人材センターと協定を結び、空き家の管理代行サービス業務や、ふるさと納税の返礼品としてサービスを提供している。

問 宅地の流動化を進めるため、家屋の解体除去に対し、期限を設けて思い切った補助をしては。

答 本市では空き家の改修補助、老朽空き家の除却補助や準老朽空き家の除却支援事業を行っており、県、市の空き家対策協議会と連携を図りながら調査研究していく。

コロナ禍における福祉施設の状態は

問 本市が管轄する福祉施設では良好な運営が行われているのか。施設への訪問調査を行うべきでは。

答 市の業務として指導監査があり、監査時以外でも担当職員が各種業務の打ち合わせなどで、当該施設を訪問している。



▲高齢者施設で働く介護ヘルパー



川畑 孝治

問 介護ヘルパーが不足していると思われるが、確保が必要では。

答 県や広域連合と連携を図り、介護ヘルパーを含めた介護人材の確保に努めたい。

問 介護ヘルパーの資格取得に対する対策は。

答 厚生労働省、ハローワークなどで受講料の支援制度があり、支援情報の周知啓発に努めたい。

カインカードの利用拡充を

問 カインカードを保有する市民、および加盟店の増加を図るため、利用を促進する企画を増やせないか。
答 令和2年から行政ポイントと付与する事業を実施しており、令和3年は8事業を実施し、令和4年は9事業を予定している。

ごみ袋をより頑丈に

問 市指定ごみ袋が破れやすいと感じるが、改善はできないのか。
答 今までに改良を重ねてきており、当面ごみ袋の仕様を変更することは考えていない。

防犯隊員に身分証明書の発行を

問 隊員同士で名前が分かるように、身分証明書を発行できないか。
答 隊員として身分を明確にできるほか、隊員間のコミュニケーション、団結力向上に役立つため、隊長や役員などと相談して検討する。

校則の見直しへの対応は

問 各学校における校則の見直しについて、本市の考えは。

答 各学校に対し、児童、生徒の実情や保護者の考え方、地域の状況などを踏まえ、絶えず積極的に見直すように周知をしている。

スクールカウンセラーの役割は

問 日常的にどのような業務をしているのか。
答 悩みを持つ児童や保護者に対して支援する役割を担っており、友人関係、家庭での悩み、学習、教員との関係、子どもの行動、不登校といった相談を受けている。



近藤 哲行



▲利用拡充が期待されるカインカード

本市の農業の現状と課題は

問 本市でスマート農業に取り組む農業者は何件か。
答 令和3年度末までに取り組む農業者は21件の見込みである。
問 今後の導入見込みは。
答 生産組織や認定農業者などに導入の希望調査を行い、312件中42件の導入希望があった。令和3年度は導入希望者以外からの基地局の申込みもあり、令和7年度には70件程の申込みを見込んでいる。
問 本市の生産者組合、または認定農業者への支援は。
答 県の補助事業に、市費を上乗せすることで支援をしている。
問 本市産米の消費拡大に向けた取り組みは。
答 市内の小中学校の給食に3カ月間いちほまれを提供するほか、平成28年度からは保育園にも本市産のコシヒカリを提供している。

農林水産業の力で本市のブランドアップを

問 儲かる農業を目指す本市として、どのようにブランドアップに取り組んでいるのか。
答 「越前坂井うらの極味膳」や



▲自動操舵システム付き田植え機



吉川 貞明

耕作放棄地の再生を

問 本市の耕作放棄地の現状と今後の取り組みは。
答 数を把握するために農地パトロールを実施している。また、多面的機能の維持や食料自給率の低下抑制のため、遊休農地などの所有者に利用意向調査を行う。

第三次坂井市福祉保健総合計画の推進を

問 「地域福祉計画」にある「福祉教育の推進」における具体的な取り組みは。

答 学校に対し、社会福祉協議会を通じて、点字、手話、盲導犬、高齢者生活の疑似体験、障がい者スポーツの企画などを行っている。

問 「地域福祉計画」にある「住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくり」とはどのようなものか。
答 社会福祉協議会との連携でコミュニティソーシャルワーカーという専門職を配置し、住民が主体的に課題の解決に向けて関わっていただける仕組みづくりを支援している。

問 「高齢者福祉計画」の「生涯現役社会の実現に向けたいきいきと暮らせるまちづくり」の主な取り組みと課題は。
答 通いの場などの高齢者の居場所づくりや、主体的な介護予防・健康づくりの推進に取り組んでいる。

問 「丸岡城周辺整備基本計画と一筆啓上茶屋移転における市民への説明を

問 住民が理解し、納得のできる分かりやすい説明、および市民との意見交換の場を。
答 フォーラムの開催や地元区長会などへの説明、意見交換会を随時行っており、今後も関係各所への説明を丁寧かつ積極的にしていく。



▲第三次坂井市福祉保健総合計画(概要版)



渡辺 竜彦

問 「障がい者福祉計画」の「地域で助け合い安心して暮らせる体制づくり」の主な取り組みと課題は。
答 地域住民との触れ合いや交通移動手段の確保、災害対策・防犯体制の充実に取り組んでいるが、災害時の障がい者の避難や支援の課題について考えていく必要がある。

問 課題としては、コロナ禍により、住民主体の活動を自粛していることが挙げられる。
答 課題としては、コロナ禍により、住民主体の活動を自粛していることが挙げられる。

丸岡城周辺整備基本計画と一筆啓上茶屋移転における市民への説明を

問 住民が理解し、納得のできる分かりやすい説明、および市民との意見交換の場を。
答 フォーラムの開催や地元区長会などへの説明、意見交換会を随時行っており、今後も関係各所への説明を丁寧かつ積極的にしていく。

問 一筆啓上茶屋を移転する前に、丸岡城の耐震改修工事と雨漏りなどの修繕を。
答 耐震改修工事については、文化庁や県との天守の保存、活用方法、新設する関連施設などを含めた協議が整い次第、実施する。

問 雨漏りなどの修繕については、軽微なものは、その都度文化庁と協議をしながら行っている。
答 今後の丸岡城天守の国宝化を目指す方向性、考え方は。

問 引き続き、遺構の調査や文献調査を積み重ねていくことで、国宝化につながると考えている。
答 城山の史跡指定の取り組みは。

問 専門家や文化庁と、引き続き協議をしながら指定を目指していく。
答 専門家や文化庁と、引き続き協議をしながら指定を目指していく。

問 引き続き、遺構の調査や文献調査を積み重ねていくことで、国宝化につながると考えている。
答 城山の史跡指定の取り組みは。



▲丸岡城と一筆啓上茶屋



畑野麻美子

本市独自の奨学金を

問 家庭の経済事情などに左右されず、学びたい人が学べるよう、本市独自の返済が不要な奨学金制度を設立しては。
答 財源の確保や公平性の担保など、難しい問題がある。

問 本市のUIJターン奨学金支援事業を活用してほしい。
答 本市のUIJターン奨学金支援事業を活用してほしい。

放課後児童クラブの現状は

問 各施設における利用者数と定員数のバランスは。

答 定員を超過している児童クラブ数は27クラブ中17カ所、地域によっては施設面で厳しい状況となつてはいるが、追加の部屋や新たな施設の確保などに努めている。

問 申し込みの際に必要な就労証明書などの書類の提出を、「自宅から1キロ以内に居住する祖父母」から、「同じ小学校区内に居住する祖父母」に変更した理由は。

答 また、その対象年齢を統一すべきでは。実際の距離と保護者が思う距離に認識の相違がある場合が多く、公平性の確保の観点から、基準を明確にするために変更した。また、必要書類提出者の対象年齢は統一する方向で調整している。

ゼロカーボンシティ実現に向けて

問 第二次坂井市環境基本計画を推進するにあたり、職員への啓発や意識向上の状況は。



▲ごみ分別・収集日通知アプリ「こみサポート」



前田 嘉彦

問 庁内の電子掲示板を活用し、ごみの分別やリサイクル活動に関すること、CO2削減のための取り組みについての周知を行い、環境に対する意識の向上を図っている。

答 庁内の電子掲示板を活用し、ごみの分別やリサイクル活動に関すること、CO2削減のための取り組みについての周知を行い、環境に対する意識の向上を図っている。

問 今回提供を予定しているごみ分別アプリシステムの活用方法は。

答 アプリでごみ収集日をカレンダー形式で確認ができるほか、ごみの分別種類の検索も可能となっている。また、アプリ内のテロップ機能を通じて、収集体制変更時の情報を提供する新たな手段として活用したい。

地域資源を活用し 稼ぐ農林水産業の支援を

問 地域資源を活用した6次産業化の推進を。

答 既存の製品として「もみわかめ」「塩うに」などがあるが、今後も新たな6次化商品が生まれるよう、県と連携した取り組みを推進したい。

問 6次産業化プランナーの起用を。

答 県の福井6次産業化サポートセンターで専門家の派遣を行っており、現状でも体制が整っている。魅力ある商品開発のためにテストキッチンを整備を。

問 現状でもいねすやユリウム春江の調理室が利用できるため、有効に活用してほしい。

答 小さな起業を支援できる体制づくりを。

問 市商工会の支援事業のほか、県は農林漁業経営の6次産業化を推進するため、都市圏への販路開拓に要する経費や、農林水産物の加工・販売をする施設・機械などの整備に要する経費を支援している。女性が活躍できる体制づくりを。



▲6次産業化アワードを受賞した株式会社ザファーム(千葉県)



三宅小百合

問 海女の就業に係る準備支援や定着支援

答 制度、さかい農業女史にはイベントや先進地視察に対する支援などを行っている。

問 売れる商品開発とプロモーション支援を。

答 6次産業化に関心を持つ農林漁業者に県の支援制度を紹介し、県と連携した取り組みを行っている。

オンデマンド交通の早期実現を

問 持続可能なオンデマンド交通の考えは。

答 誰もが安価で利便性がよく継続して利用でき、暮らしを支える大切な手段の一つと考えている。オンデマンド交通実証実験運行の総括はどうか。

問 市民の期待の大きさを感じている。

答 また、利用者のアンケート結果や意見を踏まえ、より良いオンデマンド交通になるよう努める。

問 実証実験運行を今の2地区からさらに増やしていく計画は。

答 エリアを拡大しながら地区を広げていきたい。

問 エリアを拡大する場合、交通の不便な地域や市街地から離れた地域での実証実験運行が必要では。

答 地域によって住んでいる世代、家族構成や生活圏にも違いがあるので、実証実験を続ける中でしっかりと検討したい。

問 えちぜん鉄道が実施している西長田ゆりの里・テクノポート福井間のデマンドバスを活用できないか。

答 同じデマンド交通を支える交通



▲実証実験で使用されたデマンド交通車両



佐藤 寛治

問 市民に根ざしたオンデマンド交通を目指すならば、市が主体的に管理すべきでは。

答 オンデマンド交通の運行には交通事業者との共存、役割分担などによって安全で安心できる交通を提供できると考える。

新リーダーに望むこと

問 次の市長に望むことは。

答 過去にとらわれることなく、急激な時代の変化を的確に捉え、新しい感覚や発想を持って、本市の発展と市民のための市政運営に取り組んでほしいと考える。

市民の健康増進のために

問 コロナ禍の健康被害から市民を守るため、ラジオ体操や本市独自の体操を活用し、毎日楽しく続けられる工夫をして、市民運動を展開してはどうか。

答 ラジオ体操やマリン体操なども含めて、自分に適した運動の実践と継続ができるよう、健康アプリと合わせた取り組みや、健康講座や高齢者の通いの場での周知など、さまざまな機会を通じて運動の重要性を啓発していく。

教育は子どもの幸せのために

問 本市の学校教育の現状と、今後なすべきことは何か。

答 県は学力・体力ともに全国上位に位置しており、本市も高い学力と体力の維持に努めたい。



▲ICTを活用した授業の様子



永井 純一

また、学校の耐震化や教室の空調設備、学校ICTの整備など、教育環境の充実も進んでいる。さらに、学校・学級運営を支援する人員の配置や、DX化の推進など、教職員の働き方改革にも取り組んでいる。

しかし、多くの課題があることも認識しており、そのためにも人づくりが重要であり、子どもたちの個性、潜在能力を見つけ伸ばしていくことが大事であると考えている。

学校給食費半額に伴う
就学援助費減額の撤回を

問 就学援助を受ける約800名の児童・生徒の保護者は、学校給食費の半額支援を享受受けられない。就学援助費減額の撤回を求める。

答 この支援は、保護者が支払った給食費の同額を扶助することで実質無償となるものであり、保護者の負担がないものに援助することは、事業趣旨と異なるため難しい。

問 文部科学省は、学校給食費が半額になっても、就学援助は従来の全額分出しでもよいとしているが、

答 文部科学省で確認しているが、実際に負担した額以上を出すことは想定していないと聞いている。

空き家対策の抜本的強化を

問 空家除却支援事業の補助額、事業件数の引き上げが必要では。

答 令和4年度に件数を引き上げて対応する。

問 相続人が不在の場合に、踏み込んだ支援が必要では。

答 相続財産管理人などの制度の紹介や、弁護士などの専門家への相談を働きかけている。

問 高齢者シェアハウスの設置など

坂本市長が目指した
坂井市の姿とは

問 坂本市長なくして、坂井郡4町合併は不可能であったと確信している。

答 市長は「4町融和を図り、心の結びつきを大切にしたい」と述べていたが、4町融和についてどのよう

問 坂井市が誕生して以来、「4町融和のまちづくり」を掲げ、それぞれのまちの個性を尊重し、特色を生かしながら、多くの市民の交流の場を増やすなど、互いの融和を目指した市政運営に取り組んできた。

答 4期16年を振り返ると、1期目は市民との協働のまちづくりなど、新市としての新しい文化や絆を育むことに努めた。

問 2期目は、「心」を市政のキーワードにして、「みんなの心で築こうふるさと坂井」を目標に、市民の行政への参加と協働のまちづくりの強化に取り組んだ。

答 3期、4期目は、「笑顔」をキーワードにして、市民の健康と坂井

市に住むことに誇りを持つて生活できるまちづくりに努力してきた。

笑顔は人の心を豊かにし、人と人との心のつながりは、地域の活性化につながるかと確信している。いろいろな人の支えがあつて、これまでの市政運営ができたと感じている。



▲ 答弁をする坂本市長



伊藤 聖一



松本 朗

競艇企業団の管理者報酬・議員報酬の削減・廃止を

問 他自治体の事例も参考にしながら調査検討したい。

答 令和3年度の管理者報酬は196万5千円、議員報酬は40万6,250円である。

問 企業団の令和2年3月議会で、廃止、または抜本の見直しを、今後も減額のまま据え置くという議決をしている。



▲ ポートレース三国

本市独自の戦略的な財政運営を

問 令和4年度の市税収入は、コロナ禍により依然として厳しい状況であるが、前年度対比5.8%増の123億5,620万円を見込んでいる根拠は。

答 令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策として固定資産税の軽減措置があつたが、令和4年度については通常課税となることから増収を見込んでいる。

問 小学校大規模改修工事や体育施設改修工事など、多くの公共施設の老朽化対策を講じる必要があるが、どのように合併特例債を活用していくのか。

答 補正予算債や公共施設等適正管理推進事業債、緊急防災・減災事業債など、交付税措置のある有利な起債を活用し、合併特例債の発行枠を確保することで、公共施設の老朽化対策などへの活用を図る。

問 本市独自の財源である、まちづくり整備基金や寄附市民参画基金を、どのように有効活用するのか。

答 市民に1万円を給付した事業などのコロナ対策費や、企業立地助

成金、イベント事業、学校給食費負担軽減事業など、ソフト事業に充当しており、今後も有効活用していく。

問 コロナ禍を踏まえた健全な財政運営の観点から、坂井市中期財政計画を見直してはどうか。

答 本市の財政状況を注視するとともに、大型事業などの全体事業費の見通しが明らかになった段階で検討する必要があると考える。



▲ 合併特例債を活用して大規模改修が計画されている雄島小学校



川端 精治

令和3年度 一般会計3月補正予算概要

補正額 **46億1,220万円** (補正後の額 489億8,140万円)

主な事業

◆次世代型地域交通導入推進事業 **1,680万円**
オンデマンド型交通実証実験のアンケート結果を踏まえた、実験運行の継続に係る経費の増額。

◆水産業経営支援事業 **850万円**
燃油価格高騰により、経営に影響を受けた漁業者を支援する補助金に係る経費の増額。

◆地方創生推進事業 **39万円**
企業版ふるさと納税による寄附額の増加に伴う委託料の増額。

◆都市計画事務事業 **220万円**
近年の自然災害等を踏まえ、大規模盛土により宅地造成された箇所の調査に係る経費の増額。

◆まちづくり整備基金 **25億円**
越前三国競艇企業団の事業収益の積み立てに伴う積立金の増額。

◆私立保育所運営支援事業 **845万円**
私立保育所等における保育士等の処遇改善について、令和4年2月から3%程度の賃金引き上げを行うために必要な経費の補助に係る経費の増額。

あなたの写真で、坂井市の魅力を伝えてみませんか？
議会広報の表紙写真を大募集！

発行部数約3万部、市内全世帯に配布される議会広報紙の表紙写真を募集します。発行月は、5月、8月、11月、2月です。季節感あふれる、あなたが撮影した奇跡の1枚をお待ちしています。

応募資格 市内在住、または在勤・在学している人

応募期間 希望掲載月の前月第1月曜日まで

応募要件 ・市内で撮影したもの（概ね1年以内で未発表のもの）
・写真は、縦長で撮影された3MB以上の画像データ（JPG、JPEG形式等）

注意事項 ・応募者以外に被写体となっている人の承諾を必ず得てください。承諾を得ていなかった場合のクレーム・トラブルなどについては、一切の責任を負いかねます。なお、個人の所有物に関しても、同様とします。

・応募された写真は、無償で市議会が使用することに承諾したものとします。また、サイズ調整等のため加工を行うことがあります。

・選考は市議会広報編集委員会で行います。なお、審査内容についてはお答えできません。

応募方法 ①撮影者の氏名（掲載時に使用、ペンネーム可）、②住所、③電話番号、④掲載希望月、⑤撮影年月、⑥撮影場所、⑦写真の説明を記入し、写真データを添付して、メールで下記アドレスまで送付してください。

問い合わせ 議会事務局 TEL：0776-50-3001
MAIL：gikai.fukui.sakai@gmail.com

今号の表紙

今号の表紙は初孫じいじさんの撮影作品です。

撮影場所 春江の自宅

撮影者のコメント

孫と茶々丸くん(猫)は仲良く日向ぼっこ中。春も訪れ、『ようやく暖かくなってきたね〜』と、茶々丸は孫を見守ってくれています。



たくさんのご応募、ありがとうございました。



Check!

スマートフォンでこのバーコードを読み込むと、宛先が入った状態でメールアプリが起動します。

議会を傍聴してみませんか

★6月定例会会期日程（予定） ※日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

6月10日(金)10時～	本会議(行政報告・議案説明など)
13日(月)・14日(火)10時～	予算特別委員会
22日(水)10時～	本会議(代表質問)
23日(木)・24日(金)10時～	本会議(一般質問)
28日(火)10時～	産業建設常任委員会
29日(水)10時～	教育民生常任委員会
30日(木)10時～	総務常任委員会
7月4日(月)10時～	予算特別委員会
6日(水)10時～	本会議(委員長報告・採決など)



編集後記

うらかな春の陽気は、いまや気候変動の影響で汗ばむほどの陽気となっています。本市では、エコアクションさかい活動団体の協力で、小学生向けの地球温暖化防止対策オリジナル副読本を、ふるさと納税制度を活用して作成しました。

令和4年度からは、このオリジナル副読本を使って、市内小学6年生を対象に「ストップ温暖化対策授業」が行われます。未来のために、いま行動できることを共に学び、一緒に行動していきましょう。

さて、4年に一度の改選が行われ、新しい市長と新たなメンバーとなりました。これからも議会活動を分かりやすく市民の皆さまにお伝えできるよう努めてまいります。よろしくお願いたします。

(三宅)

広域連合・一部事務組合議会報告

福井県後期高齢者医療広域連合

県内すべての市町で構成。被保険者の資格の管理や保険料の決定、医療の給付などに関する事務を行う。

■令和3年11月：第2回定例会

- 監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて 同意
- 令和2年度一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定 認定

他3件を可決

福井坂井地区広域市町村圏事務組合

坂井市・福井市・あわら市・永平寺町で構成。主に清掃センター、YONETSU-KANささおかの運営、電子計算組織(福井市を除く)の共同利用を行う。

■令和3年11月：第182回定例会

- 令和2年度一般会計歳入歳出決算の認定 認定
- 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度一般会計補正予算) 承認

他1件を可決

嶺北消防組合

坂井市とあわら市で構成。

■令和3年11月：第3回臨時会

- 令和2年度一般会計歳入歳出決算認定 認定
- 消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例 可決

他1件を可決

越前三国競艇企業団

坂井市と越前市で構成。競艇事業の運営を行う。

■令和3年12月：第3回臨時会

- 令和3年度モーターボート競走事業会計補正予算(第2号) 可決

議会報告会を開催します

3月定例会の報告と意見交換会を行います。議会や市政に対する皆さまのご意見をお聞かせください。

住所に関係なく、どの会場でも参加できます。皆さまの参加をお待ちしています。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、内容の変更または開催を中止する可能性があります。

その際は議会ホームページにてお知らせいたしますので、予めご了承ください。

開催日時	会場		
5月23日(月) 午後7時～	春江中コミュニティセンター 2階 201会議室	春江町随応寺17-17	51-1104
	東十郷コミュニティセンター 1階 多目的ホール	坂井町長畑25-11-1	66-4567
5月24日(火) 午後7時～	三国コミュニティセンター 1階 大ホール	三国町神明一丁目4-20	82-6400
	高椋コミュニティセンター 3階 大会議室	丸岡町西里丸岡12-21-1	68-0843

議会を開きます



坂井市議会 令和4年 6月定例会

6/10(金) ~ 7/6(水) 開催予定

※日程は変更になる場合があります

〔会議日程〕

- 6/10[金] 本会議(初日)
- 6/22[水] 代表質問
- 6/23[木]~24[金] 一般質問
- 7/6[水] 本会議(最終日)

- ・日程については市議会ホームページでもご覧いただけます
- ・各議員の一般質問については後日YouTubeにて配信されます



▲議事ホームページ



▲YouTubeチャンネル

問合せ先 坂井市議会事務局 Tel. 0776-50-3001